

2023（令和5）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493400129	事業の開始年月日	平成16年6月1日
		指定年月日	令和1年6月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3		
所在地	(246-0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢4-28-8		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和5年10月30日	評価結果 市町村受理日	令和6年5月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者様の『もうひとつの家族になりたい』との思いから、良い意味で《自分らしく、わがママが言える》今までと変わらぬ環境での生活支援を目指しております。

閑静な住宅街にあるホームは季節の花が咲き、プランターでは野菜作りを行っています。敷地内の木には実を付けるものもございます。収穫はみなさまの楽しみのひとつです。近隣には四季の花々が咲く公園があり、お散歩には最適です。お花見や町内会の夏祭りにも出かけています。

フロアごとに区切らずひとつ屋根の下の家族として、合同でのレクリエーションも盛んです。同じ趣味を持つ方の個人的な行き来もあります。ボランティアではハーバリウム教室やドッグセラピー、キャットセラピーも行なっています。

健康維持として弊社オリジナルの体操を訪問とリモートで定期的に行っております。コンテンツの中のALSOKあんしんヨガは3名、ノーアエクササイズは4名のインストラクターが在籍しており《毎日体操》を目指しております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和5年11月16日	評価機関 評価決定日	令和6年3月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

相鉄線「瀬谷」駅よりバスで14分、低層の住宅街に広がる、周囲の雰囲気に溶け込んだ建物になっています。近くにはホームセンターや郵便局、コンビニエンスストアがあります。

<優れている点>

コロナ禍により希薄になっていた地域交流に努めています。地域に向けて、事業所を知ってもらう、溶け込むことに注力し「グループホームとはどんなところ？」というポスターを作成しホームを紹介しています。ポスターを見た地域の人から資料が欲しいなど複数の声も届いています。また、コロナ禍で見送られていた町内会の夏祭りが4年ぶりに開催され参加しています。空手の演武やシャボン玉、焼きそばやノンアルコールビールなどで楽しみながら地域との交流も深めています。利用者と一緒に地域の公園や道に落ちている空き缶、紙くずなどのゴミ拾いもして地域の環境整備にも貢献しています。

<工夫点>

動物と触れ合うことで治療やリラクスの効果を引き出すアニマルセラピーを始め、ボランティアによるドッグセラピー、キャットセラピーは訓練を受けたセラピー動物が利用者の癒しとなっています。ホーム内の暮らしの風景をブログで発信し、リアルな様子が伝わるということで、家族から好評を得ています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3
ユニット名	1階

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input checked="" type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	1Fスタッフステーション、2Fキッチン内に掲示しています。利用者様を笑顔にするのは職員の笑顔。一緒に笑い合えある事が目標で、達成できていると感じています。	職員が目につきやすいスタッフルームやキッチンに事業所理念を掲示し、「一日10回利用者さんを笑わせよう！一緒に笑おう!!」を事業所理念としています。職員が積極的に笑顔になることで利用者の笑顔も促し、施設内の雰囲気づくりに努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルスが落ち着き、4年ぶりに町内会の夏祭りに参加することができました。公演に散歩に出かける際のゴミ拾いも再開しました。	ホーム周辺の広場では、ゲートボールをするために地域の高齢者たちが集まる場所ともなっています。利用者の散歩時などにも施設行事等の情報交換が出来る機会となっています。ホームと地域の交流を積極的に行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会へ加入しています 公園掃除への職員の参加や公園へ出かけた際の通路や園内の清掃を出来る限りですが行っています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	本年度より再開しました。制限のあった生活でどのような支援を行ってきたか情報交換を行いました。地域での交流をどのように戻していくかが今後の課題です。	コロナ5類移行により、対面開催を再開しています。参加者は、地域包括支援センター、町内会長、社会福祉協議会職員及び、利用者代表者などの構成員が参加しています。メンバーから認知症カフェの再開の要望があり、地域貢献を目的に開催を検討しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要時には担当区役所へ出かけています。生活保護の方は年に数回支援担当者にお越しいただきご様子をお伝えしたり直接ご本人と関わって頂いています。	納涼祭などのホームの行事は、横浜市役所健康福祉局介護事業指導課担当者及び地域包括支援センター職員などにも情報提供し参加を募り、交流を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っておりません。年に4回の身体拘束適正化検討委員会を開いています。研修も年2回行っております。	身体拘束適正化委員会を年4回実施し、より具体的な理解を求めるために、テーマを決めて実施しています。テーマを明確にすることで、職員の理解度が増し、知識を深めています。また、外部研修ツールを利用し、積極的に職員研修を実施し質の高いケアを確保するよう努めています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束適正化検討委員会と同月になりますが、年に3回高齢者虐待防止委員会を開催しております。高齢者虐待防止のための研修は年2回行っています。	身体拘束適正化委員会と同月に会議を開催し接遇同様、虐待に関する意識高揚を図っています。見守りカメラの設置によりケアの向上が図られ、利用者の対応の安全性やけがや痣の検証にもつなげています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要な際はすぐに対応できるように体制を整えています。書面ですが定期的に資料を周知しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に見本として契約者ご家族様に送付しております。契約時には十分に時間を取り、ご説明させて頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	感染防止のために大人数での家族会は中止しており個別やユニットごとで行っています。急ぎの件はお電話でもお話ししていますし、面会時はお時間を頂いて直接お話しさせて頂いています。	コロナ禍により、感染を懸念し家族等の面会は極力控えてもらうように伝えていきます。電話での会話による面会や手紙でのやり取りを中心に行っています。また、日常の入居者の様子を、ブログで写真などで伝え、家族の安心につなげていきます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員全員が情報共有できる環境に整えています。	管理者は、常に職員との交流を意識し日常の関わりを持っています。勤務終了時には、勤務者全員に一人ひとりに声掛けし、その日の出来事について話し、意見交換をしています。交流することで、職員側からの意見も多く寄せられています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	出退勤時には必ず声を掛けてコミュニケーションを図るようにしています。仕事だけではなく雑談を交えて話をしやすい奮起ウィ作っています。年2回個別面談も行っています。	法人組織として処遇改善に積極的な取り組みをしています。複数の事業所を展開する法人としての職員のスキルアップを図ることを目的にしています。人事交流を行い、職員が持ち合わせている潜在力の引出しなどの成果を上げています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	適宜研修のお知らせを掲示したり、声を掛けたりしています。年間研修予定表も掲示していますのでステップアップにつなげてくれたらいいと思っています。	職員からの受講したい研修等の要望を聞き取り、年間の定期的な研修計画に反映し、実施しています。また、研修は内部・外部問わず実施しています。日常のケアに反映し、スキルアップが図られています。ベテラン職員の要所配置がされ、安定した運営をしています。	ベテラン職員の高齢化による後継者不足に大きな悩みが生じています。今後、新規職員の導入により、培ったケアスキルを適宜後継者育成に水平展開することを期待します。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	瀬谷区や旭区と合同で行われる委員会や研修に参加しています。本年どより瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会の役員となりましたので毎月情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に実態調査として面談を行っています。ご本人様、ご家族様よりお話を伺い生活環境も見せて頂いています。入居後も安心して生活して頂くため十分な情報収集とコミュニケーションを取るよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	お問い合わせがあった際には入居までの経緯やグループホームでの生活を順を追ってお話しさせて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居当時は慣れない環境で戸惑うこともあると思いますので、お気持ちを汲み取りながら接しています。他者様とのコミュニケーションは職員が橋渡しウィシながら安心して交流できる様支援をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の係わりで、どのようなお気持ちでいらっしゃるかを探り受け止めています。ご趣味やお得意な事、やってみたいことを伺いチャレンジできるように支援を行なっています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月郵送しております『宮沢3通信』や個別に作成しております一言通信で様子をお伝えしています。贈り物が届いた時は写真の絵葉書やご本人様の絵手紙を送っています。少しでも気になることがあった際はお電話でお伝えしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご友人との文通やお電話での交流が主だと思います。面会に来て下さる方もおり、ご一緒に過ごせる時間を大切にさせて頂いております。	入居する段階で、利用者一人ひとりの交友関係や馴染みの物品などの把握に努めています。極力関係を持てる工夫をしています。友人との手紙のやり取りの支援や、部屋の調度品の選別を行い、利用者のこころのケアを図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションは出来る限り合同で行うようにしています。 塗り絵など同じ趣味をお持ちの方は、フロアを区切らずにお互いの作品を見せ合ったりと個別でも行き来して頂いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	今後のご生活の中で必要なことがあればお気軽にご連絡下さるようお願いしております。退去後でもご自身の生活やお知り合いの方の生活上の困りごとなどの相談を受けることもあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	おひとりごとのコミュニケーションを心がけています。お部屋や入浴時など職員と二人きりになった時には周囲を気にせず話して頂ける雰囲気にお気持ちを汲み取る努力をしております。	職員は申し送りや、スタッフ共有ノートを活用しています。発語の少ない人には表情や目線を確認するなど非言語コミュニケーションを駆使して意向確認しています。思いが気軽に表現できるよう、話の内容を否定せず安心して表出できるようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談でご本人だけでなく、ご家族やかかりつけの医療機関などからも情報共有をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	既往歴や診療情報を把握し、健康管理表や生活記録からも日々の状況や変化に気が付けるように申し送りを行情報共有しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月カンファレンス、フロア会議を行い状況把握やケアの方向性を話し合っています。介護計画作成時には、ご本人とご家族様からの意向を伺った上で作成しております。心身の状況変化が見られた際はその都度見直しております。	介護計画における本人・家族の意向ではホーム作成の「意向記入表」を家族に送付し、回答を得て進めています。月に一度定例のカンファレンスを実施し最近の様子や変化、本人の思いを反映していません。計画の実施の有無は「生活記録」の書式に記録をしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は生活記録に、健康状態は健康管理表に記載し職員間で情報共有を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	法人内でのシニアセラピーやリモート体操、訪問体操を行っています。ボランティアではペットセラピーを月に1回のペースで行っています。旅番組やコンサートの配信も利用しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ホーム周辺の美化活動としてゴミ拾いを行っています。資源である新聞は回収日前に纏める作業も一緒にやっております。宅配ヨーグルトや訪問理美容も利用しています。今後は訪問販売も依頼していきたいです。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前に当ホームの協力医療機関について説明させていただき、ご納得を頂けたらご同意いただいております。外部受診が必要な際はご家族様のご協力をお願いしております。	職員が記録する「往診記録」を予め訪問医に伝えています。医師は事前に入居者の体調を把握したうえで診察することができます。希望があれば、入居前のかかりつけ医の継続利用をすることができます。多剤服用にならないよう看護師や薬剤師に相談しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、医療関係看護師の訪問があります。ご利用者様の日々のご様子、往診内容をお伝えし協力医療機関への連携を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご家族様にも一緒に対応して頂いております。病院へは必要な情報を共有させて頂いております。退院が決まりましたらICを依頼しておりますが個人情報の関係でかなわないこともあります。介護・看護サマリーは必ずご提出して頂いております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に『重症化した場合の対応にかかわる指針』に沿ってご説明しております。ご利用者様の状況に応じてがお座奥様と担当医と十分に話し頂きご納得された上で支援させて頂いております。	入居時に重度化指針を説明し、家族に対して意向を確認しています。終末期にさしかかった際には、家族を交えて医師から説明を兼ねたカンファレンスを実施しています。その後、家族の同意を得ています。ホーム開設後既に複数の看取りを実施しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応マニュアルを作成し全職員が把握しております。普通救命講習をほぼ全職員が取得しており緊急時には的確な行動ができるように心がけています。また年に1回は避難訓練時に救命講習を依頼しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	少なくとも年に2回は避難訓練を行っています。消防署の協力のもと消火訓練やブラインド訓練を行い不慮の出来事でも冷静に対応できる力を身につけようと努力しています。	訓練参加者にその場の判断で臨機応変に対応させるブラインド型訓練の他、火災訓練では災害へのイメージトレーニングをする図上訓練をしています。コロナ禍前のような地域の人の参加も、再び声掛けをする予定にしています。救命講習は全職員が受講しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の尊厳を大切に、おひとりごとに合わせて声掛けを行っていません。お気持ちを優先にご本人様が望まれる環境に塚づけられるよう努力しています。	絵手紙や書き物を嗜む人の居室の机の天板を10cm程下げ、書きやすい姿勢が取れるように調整しています。トイレや浴室にいる利用者に声をかける際は、扉の隙間を少し開け、小声の呼びかけ対応をしています。名字や名前にさんを付けて呼ぶようにしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定権を促す様に支援しています。ご本人のやりたいことや、二択一択などその方に合わせた方法で支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お好みの環境の中で無理なく、ご自身らしく過ごせる環境をご提供しています。無理なく穏やかに過ごして頂きたいと思って支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類や装飾品など、危険を伴わない範囲で楽しんで頂いています。女性の方はネイルやメイクもご希望の際はお手伝いさせて頂いています。男性の髭剃りやノーズケアも承っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食席は基本、決まっていますがご希望があれば一時的な席替えも行っています。食事前の嚥下体操やBGMやTV番組のリクエストも承っています。	近所から貰った、さつまいもやかぼちゃ、大根などの食材を、おやつなどの一品に加え、食事を楽しめる工夫を取り入れています。時には出前を頼んだり、誕生会では好きなおやつのリクエストも取り入れています。下膳や食器拭きを自主的に行う入居者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量は記録し、確認・把握を行っています。特に水分量には注意しており季節柄や少なめの摂取量の方にはこまめな水分提供を行っております。食事はホームで採れた旬の物を提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後のケアを行っております。必要な方には介助を行い清潔保持に努めています。月4回の歯科訪問では歯科医師と歯科衛生士に診察して頂き必要であれば治療を受けています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表にて記録しております。おひとりごとの排泄リズムを把握し無理なく自然なお通じを目指しています。排泄もできるだけトイレで行い、ご本人様のお気持ちに寄り添える支援を行っております。	夜間帯にリハビリパンツを使用する人で、昼間は布パンツを使用する人もいます。排泄の回数を確認しながら定期的な声掛けをしています。一人ひとりの適切な声掛けをすることで自然な排泄を促し、失禁回避にもつながっています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日、確認しております。日中だけでなく夜間帯でも排便リズムを確認し必要であれば翌日より調整しております。こまめな水分補給だけでなく、食物繊維を多く含む補助食やヨーグルトも時として使用しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日入浴できるように準備しています。体調を確認した後、安全面に配慮しています。入浴剤や季節の湯などの工夫もし気持ちよく入浴できる環境作りをしています。入浴が困難な時は清拭やベッド上での洗髪、足浴なども行っています。	車いす利用者も容易に入浴できるよう、リフト浴を活用しています。入浴剤の他に菖蒲湯、柚子湯、みかん、よもぎなどの入浴剤を用意し季節が感じられるような入浴を支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ゆっくりとお休み頂ける環境を提供しています。 室温や湿度、照明管理だけでなくご希望があればリラクサアロマもご用意しています。就寝前にあんしんヨガの瞑想も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬支援は服薬一覧表を確認しながら行っています。健康管理表に薬情をファイルし職員全員が把握できるようにしております。不明な点は医師、看護師、薬剤師に確認が取れる体制になっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お得意な事、好きなことを担当して頂いています。多少苦手でもやってみたいお気持ちがある時は危険がない限り一緒にトライしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節の花が咲いた時やプランターの野菜のお世話を短時間でも外気に触れられるようにしています。ご家族様との外食やドライブにも出かけて頂いています。	散歩時に近隣の人から花の説明を受けたり、花を貰ったりすることもあります。家族と一緒に水族館やスーパー銭湯に行く人もいます。寒暖を避けた春先には、多くの入居者が外気浴を含め、プランターの水やり、雑草取りなど外気に触れることができるようにしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自身では所持されておりません。必要な時にはお使いいただける体制を整えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様やご親戚の方と電話でも交流して頂いています。 ご友人の方とは文通が多いと感じています。必要な際は代筆もさせて頂いています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の合わせた飾りつけをしています。塗り絵や切り絵、ご利用者様の作品を主にしています。イベントごとの写真も掲示しています。	南向きの大きな広い間口の窓から陽射しが入る、明るい見通しの良いフロアになっています。心地よくフロアで過ごしてもらえるよう、リラックスできるBGMを流し、自然をテーマにした作品を視聴できるように、音・映像の環境にも配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	各フロアのテレビ前にはソファを設置しています。 好きな映画やスポーツを大きな画面で見ながら会話を楽しんだり、お天気の良い午後には日向ぼっこも楽しめます。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にお気に入りの家具や使い慣れた馴染みのある物などもお持ちいただいています。大きな家具はご家族様とサイズを図り家具の配置を変えたりして対応しています。	愛用の釣り道具を持参したり、仏壇やお位牌を持ち込む人もいます。絵手紙をたしなむ人は描きやすいように机の高さを調節するなどの配慮もしています。居室担当者を配置し、衣類管理やリネン交換を利用者と一緒に会話にも工夫しながら行っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	共有スペースに、各居室には名札等を付けています。プライバシーを守るように小窓にミニカーテンを付けています。エアコンが苦手な室温ちょうせいが難しい方はカーテンやパーテーションで目隠ししております。危険個所は緩衝材を使用しています。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢3
ユニット名	2階

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input checked="" type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	1Fスタッフステーション、2Fキッチン内に掲示しています。利用者様を笑顔にするのは職員の笑顔。一緒に笑い合えある事が目標で、達成できていると感じています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルスが落ち着き、4年ぶりに町内会の夏祭りに参加することができました。公演に散歩に出かける際のゴミ拾いも再開しました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会へ加入しています 公園掃除への職員の参加や公園へ出かけた際の通路や園内の清掃を出来る限りですが行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	本年度より再開しました。制限のあった生活でどのような支援を行ってきたか情報交換を行いました。地域での交流をどのように戻していくかが今後の課題です。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要時には担当区役所へ出かけています。生活保護の方は年に数回支援担当者にお越しいただきご様子をお伝えしたり直接ご本人と関わって頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っておりません。 年に4回の身体拘束適正化検討委員会を開いています。研修も年2回行っております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束適正化検討委員会と同月になりますが、年に3回高齢者虐待防止委員会を開催しております。高齢者虐待防止のための研修は年2回行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要な際はすぐに対応できるように体制を整えています。 書面ですが定期的に資料を周知しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に見本として契約者ご家族様に送付しております。契約時には十分に時間を取り、ご説明させて頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	感染防止のために大人数での家族会は中止しており個別やユニットごとで行っています。急ぎの件はお電話でもお話ししていますし、面会時はお時間を頂いて直接お話しさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員全員が情報共有できる環境に整えています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	出退勤時には必ず声を掛けてコミュニケーションを図るようにしています。仕事だけではなく雑談を交えて話をしやすい奮起ウィ作っています。年2回個別面談も行っています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	適宜研修のお知らせを掲示したり、声を掛けたりしています。年間研修予定表も掲示していますのでステップアップにつなげてくれたらいいと思っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	瀬谷区や旭区と合同で行われる委員会や研修に参加しています。本年どより瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会の役員となりましたので毎月情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に実態調査として面談を行っています。ご本人様、ご家族様よりお話を伺い生活環境も見せて頂いています。入居後も安心して生活して頂くため十分な情報収集とコミュニケーションを取るよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	お問い合わせがあった際には入居までの経緯やグループホームでの生活を順を追ってお話しさせて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居当時は慣れない環境で戸惑うこともあると思いますので、お気持ちを汲み取りながら接しています。他者様とのコミュニケーションは職員が橋渡しウィしながら安心して交流できる様支援をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の係わりで、どのようなお気持ちでいらっしゃるかを探り受け止めています。ご趣味やお得意な事、やってみたいことを伺いチャレンジできるように支援を行なっています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月郵送しております『宮沢3通信』や個別に作成しております一言通信で様子をお伝えしています。贈り物が届いた時は写真の絵葉書やご本人様の絵手紙を送っています。少しでも気になることがあった際はお電話でお伝えしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご友人との文通やお電話での交流が主だと思います。面会に来て下さる方もおり、ご一緒に過ごせる時間を大切にさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションは出来る限り合同で行うようにしています。 塗り絵など同じ趣味をお持ちの方は、フロアを区切らずにお互いの作品を見せ合ったりと個別でも行き来して頂いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	今後のご生活の中で必要なことがあればお気軽にご連絡下さるようお願いしております。退去後でもご自身の生活やお知り合いの方の生活上の困りごとなどの相談を受けることもあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	おひとりごとのコミュニケーションを心がけています。お部屋や入浴時など職員と二人きりになった時には周囲を気にせず話して頂ける雰囲気にしお気持ちを汲み取る努力をしております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談でご本人だけでなく、ご家族やかかりつけの医療機関などからも情報共有をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	既往歴や診療情報を把握し、健康管理表や生活記録からも日々の状況や変化に気が付けるように申し送りを行い情報共有しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月カンファレンス、フロア会議を行い状況把握やケアの方向性を話し合っています。介護計画作成時には、ご本人とご家族様からの意向を伺った上で作成しております。心身の状況変化が見られた際はその都度見直しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は生活記録に、健康状態は健康管理表に記載し職員間で情報共有を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	法人内でのシニアセラピーやリモート体操、訪問体操を行っています。ボランティアではペットセラピーを月に1回のペースで行っています。旅番組やコンサートの配信も利用しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ホーム周辺の美化活動としてゴミ拾いを行っています。資源である新聞は回収日前に纏める作業も一緒にやっております。宅配ヨーグルトや訪問理美容も利用しています。今後は訪問販売も依頼していきたいです。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前に当ホームの協力医療機関について説明させていただき、ご納得を頂けたらご同意いただいております。外部受診が必要な際はご家族様のご協力をお願いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、医療関係看護師の訪問があります。ご利用者様の日々のご様子、往診内容をお伝えし協力医療機関への連携を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご家族様にも一緒に対応して頂いております。病院へは必要な情報を共有させて頂いております。退院が決まりましたらICを依頼しておりますが個人情報の関係でかなわないこともあります。介護・看護サマリーは必ずご提出して頂いております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に『重症化した場合の対応にかかわる指針』に沿ってご説明しております。ご利用者様の状況に応じてがお座奥様と担当医と十分に話し頂きご納得された上で支援させて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応マニュアルを作成し全職員が把握しております。普通救命講習をほぼ全職員が取得しており緊急時には的確な行動ができるように心がけています。また年に1回は避難訓練時に救命講習を依頼しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	少なくとも年に2回は避難訓練を行っています。消防署の協力のもと消火訓練やブラインド訓練を行い不慮の出来事でも冷静に対応できる力を身につけようと努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の尊厳を大切に、おひとりごとに合わせて声掛けを行っています。お気持ちを優先にご本人様が望まれる環境に塚づけられるよう努力しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定権を促す様に支援しています。ご本人のやりたいことや、二択一択などその方に合わせた方法で支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お好みの環境の中で無理なく、ご自身らしく過ごせる環境をご提供しています。無理なく穏やかに過ごして頂きたいと思って支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類や装飾品など、危険を伴わない範囲で楽しんで頂いています。女性の方はネイルやメイクもご希望の際はお手伝いさせて頂いています。男性の髭剃りやノーズケアも承っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食席は基本、決まっていますがご希望があれば一時的な席替えも行っています。食事前の嚥下体操やBGMやTV番組のリクエストも承っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量は記録し、確認・把握を行っています。特に水分量には注意しており季節柄や少なめの摂取量の方にはこまめな水分提供を行っております。食事はホームで採れた旬の物を提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後のケアを行っております。必要な方には介助を行い清潔保持に努めています。月4回の歯科訪問では歯科医師と歯科衛生士に診察して頂き必要であれば治療を受けています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表にて記録しております。おひとりごとの排泄リズムを把握し無理なく自然なお通じを目指しています。排泄もできるだけトイレで行い、ご本人様のお気持ちに寄り添える支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日、確認しております。日中だけでなく夜間帯でも排便リズムを確認し必要であれば翌日より調整しております。こまめな水分補給だけでなく、食物繊維を多く含む補助食やヨーグルトも時として使用しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日入浴できるように準備しています。体調を確認した後、安全面に配慮しています。入浴剤や季節の湯などの工夫もし気持ちよく入浴できる環境作りをしています。入浴が困難な時は清拭やベッド上での洗髪、足浴なども行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ゆっくりとお休み頂ける環境を提供しています。 室温や湿度、照明管理だけでなくご希望があればリラックスアロマもご用意しています。就寝前にあんしんヨガの瞑想も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬支援は服薬一覧表を確認しながら行っています。健康管理表に薬情をファイルし職員全員が把握できるようにしております。不明な点は医師、看護師、薬剤師に確認が取れる体制になっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お得意な事、好きなことを担当して頂いています。多少苦手でもやってみたいお気持ちがある時は危険がない限り一緒にトライしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節の花が咲いた時やプランターの野菜のお世話に短時間でも外気に触れられるようにしています。ご家族様との外食やドライブにも出かけて頂いています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご自身では所持されておりません。必要な時にはお使いいただける体制を整えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様やご親戚の方と電話でも交流して頂いています。 ご友人の方とは文通が多いと感じています。必要な際は代筆もさせて頂いています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の合わせた飾りつけをしています。塗り絵や切り絵、ご利用者様の作品を主にしています。イベントごとの写真も掲示しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	各フロアのテレビ前にはソファを設置しています。 好きな映画やスポーツを大きな画面で見ながら会話を楽しんだり、お天気の良い午後には日向ぼっこも楽しめます。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にお気に入りの家具や使い慣れた馴染みのある物などもお持ちいただいています。大きな家具はご家族様とサイズを図り家具の配置を変えたりして対応しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	共有スペースに、各居室には名札等を付けています。プライバシーを守るように小窓にミニカーテンを付けています。エアコンが苦手な室温調整が難しい方はカーテンやパーテーションで目隠ししております。危険箇所は緩衝材を使用しています。		

2023年度

事業所名 GHみんなの家・横浜宮沢3
作成日： 2024年 4月 20日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	職員を育てる取り組み 職員の高齢化による後継者不足	新規職員を獲得・導入し育成する	新たにケアリーダーを任命し ホーム長、ケアマネ、現ケアリーダー と連携を行い職員獲得のための訪問や 本部にッ協力を求めている。	6ヶ月
2	21	日常的な外出支援 外出を日常生活の一部として捉える	毎日の外出（散歩・外気浴）	一度に散歩を行うことは困難なので、 少人数での外出を試みる。 外出できない利用者へのケアも行う。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月